

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	市営墓地造成事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	水道環境部	課等名	環境課		包含する細々目	8	1	1	2	10	99	7,200
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心して快適なまちづくり											
施策	45 居住基盤の向上											
実施区分	継続	会計	墓地事業	環境調整会議	済み	関連計画 条例等		墓地・埋葬等に関する法律 市墓地等経営の許可等に関する条例				
		事業期間	14	年度～	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	・飯田市内に居住の市民及び飯田市に本籍のある市営墓地の使用希望者	墓地の使用希望者数(平成14年調査実施)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする	
			2750				
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
			使用してもらう	西部霊園の整備済聖地数(供給数) / 西部霊園整備予定数(%)	18目標	14.1	最終目標
		市営霊園使用者数	18実績		19目標		最終目標達成年度
23目標				23実績			
		18目標	2084	最終目標	2592	25	
		18実績		19目標		最終目標達成年度	
		23目標		23実績			

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	墓地経営は地方公共団体が経営することが責務となっている。桐林・矢高・柏原の霊園が満杯となったため、16年度より西部霊園の整備に着手した。 ・西部霊園の新設(554区画を順次実施) ・16年度29区画、17年度49区画の整備完了 ・地元要望であがっている道路整備の実施 ・合葬式墓地の建設を進める	○Bブロック粗造成 ○西部霊園24区画の墓地使用者募集を行い、19区画の使用者決定。 (78区画中現在37区画の使用者が決定している) 合葬式墓地(共同墓地)のあり方研究のため、先進地(長野市営霊園)の視察を実施	・粗造成済み面積 ・供用開始数	1,500㎡ 49区画
	18年度の実績			
	19年度計画	○西部霊園29区画の使用者を募集。 ○西部霊園周辺環境の整備。(植栽等) ○西部霊園周辺の市道整備(地元要望事項への対応) 合葬式墓地の設置場所を特定する	・整備済聖地数 ・整備済み面積	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	4,605	7,200
一般財源			
事業費計(A)	4,605	7,200	
人件費	正規職員所要時間	18年度 600	19年度 600
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	2,146	2,146
	トータルコストA+B	6,751	9,346

特定財源内訳や補足事項	市営霊園永代使用料
-------------	-----------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	生活に必要な基盤が整う	居住の満足度	現状値	100	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

<p>この事業を開始したきっかけ</p> <p>新霊園構想について議会質問があり、今後の墓地需要に対応するため、市民要望を踏まえる中で新霊園整備計画を策定した。</p>	<p>事業を取り巻く状況の変化</p> <p>現在区画造成を進めている市営桐林霊園が完了し、次期候補地を伊賀良中村地区とすることができた。15年度に土地買収を行い、16年度より造成を始めた。進入路・駐車場及び29区画の聖地を16年度に、49区画と休憩所・トイレの建築を17年度に実施した。合葬式墓地(共同墓)を設置する方向で検討に入っている。</p>	<p>事業に対する市民や議会の意見</p> <p>墓地使用希望者からの空き墓地の問い合わせが頻繁にある。抽選会への希望者が多数ある。共同墓の設置について議会から要望意見があり、設置の答弁がなされている。</p>
---	--	--

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p>	<p>(評価) 結びつく (その理由)</p> <p>墓地不足の解消は、市民生活の安定につながる。</p>	有効性 評価	<p>成果をさらに向上させる余地はありますか？</p>	<p>(評価) 余地がある (その理由)</p> <p>特別会計の性格から、墓地造成区画の年度ごとの見直しも可能で、市民要望に応じた整備計画の検討が実施できる。</p>
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p>	<p>(評価) 必要性がない (その理由)</p> <p>市の事業として実施しているため、市内に住んでいるか本籍のある人に限った募集である。</p>		<p>廃止・休止した場合の影響はありますか？</p>	<p>(評価) 影響あり (その理由)</p> <p>墓地経営は、原則として地方公共団体となっており、市民要望に応えられない。</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p>	<p>(評価) 必要性がない (その理由)</p> <p>法律上からも永続的に墓地の安定経営が求められており、市民の要望に応える必要がある。</p>		<p>他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？</p>	<p>(評価) 統合不可能 (類似事業名、理由)</p> <p>宗教法人による墓地経営が行われているが、宗教法人と言うことで宗派等があり、檀家・信徒中心となり誰でもとは行かない。</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？</p>	<p>(評価) 必要ある (その理由)</p> <p>法律上墓地経営は、原則として地方公共団体が行うことと定められている。安定経営・安定供給が求められている。</p>		<p>効率性を評価</p> <p>成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) 可能 (その理由)</p> <p>実施計画の検討により諸経費の削減を図る必要がある。年次計画での実施で節減が見こめる。</p>
			公平性 評価	<p>受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？</p>	<p>(評価) 妥当である (受益者とその理由)</p> <p>個人での使用となり、永代使用料・管理料の負担を求めている。</p>

【Plan】改革改善

<p>今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 → 具体化</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p> <p>全体整備計画が示されており、より効率的な整備方法としてブロック毎の整備工事とし、Bブロックの粗造成に着手する。</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p> <p>供給と整備のバランスをとりながら進めていく。</p>
--	--

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	